

新型コロナワクチンについて その1 ～効果と安全性～

一般社団法人 小金井市医師会

日本でも新型コロナワクチン接種が始まりました。長いコロナ禍を終息させる唯一の武器とも言えます。数回にわけて新型コロナワクチンの解説をさせていただきます。一緒に理解を深めて参りましょう。

現時点で日本で承認され使用されているのは、ファイザー・ビオンテック社の mRNA ワクチンです。このワクチンは 21 日間隔で 2 回接種します。現在オックスフォード・アストラゼネカ社のベクターワクチンとモデルナ社の mRNA ワクチンが承認申請中です。今回はファイザー・ビオンテック社の新型コロナワクチンについて解説します。

1. 有効性

mRNA ワクチンのはじめて実用化された新しい技術です。mRNA ワクチンの基礎研究は 20 年以上行われてきており、長い下積みがあったのです。人類にとって朗報であったのは、専門家も驚くほど効果が高いことです。

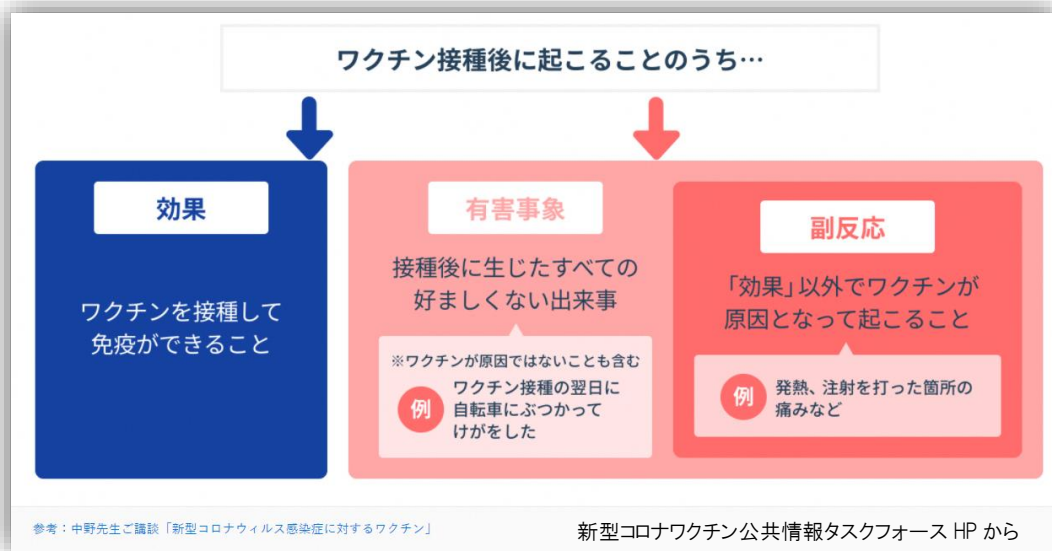
ワクチンの効果には 3 種類あります。感染自体を抑える感染予防効果、感染しても症状が出るのを抑える発症予防効果、発症しても重症化するのを抑える重症化予防効果です。イスラエルでファイザー社の新型コロナワクチンを 2 回接種した市民 60 万人と、接種していない市民 60 万人を比較したところ、**発症予防効果は 94%、重症化予防効果は 92%**でした。**感染予防効果は**正確に調べるのが難しいのですが、**92%程度**ありそうです。ちなみにインフルエンザワクチンの発症予防効果はおおよそ 40-60%です。ファイザー社の新型コロナワクチンはとても効果が高い優秀なワクチンなのです。



新型コロナワクチン公共情報タスクフォース HP から

2. 安全性

ワクチンが原因かどうか分からないけれど、ワクチンを接種した後に好ましくない反応が出たものを有害事象といいます。有害事象の中で、ワクチンが直接原因でおこったものが副反応です。たとえば、ワクチン接種の帰りに雷に打たれた、というも有害事象として報告されていますが、これはたまたまワクチン接種後に起こったことであり、ワクチンが原因ではありませんので副反応ではありません。



ファイザー社の新型コロナワクチンの副反応は以下のようなものが報告されています。

	1回目	2回目
注射部位疼痛	86.6%	79.3%
疲労	40.3%	60.3%
頭痛	32.8%	44.0%
筋肉痛	14.3%	16.4%
37.5℃以上の発熱	14.3%	32.8%

その他、悪寒、関節痛などが報告されていますが、ほとんどが2、3日以内におさまっています。

重大な副反応にアナフィラキシーがあります。アナフィラキシーとは、強いアレルギー反応がおこって、蕁麻疹や粘膜の腫れ、息苦しさ、吐き気や腹痛、血圧低下のうち二つ以上がみられるものです。

右の表のとおり、インフルエンザワクチンより頻度が高いですが、皆様も一度は使ったことがあると思われる抗生剤に比べるとずっと低いです。

アナフィラキシーは接種後 15 分以内に 74%、30 分以内に 90%が発生しています。

接種後 15 分は必ず経過観察を行います。

万が一アナフィラキシーがおこっても、薬で治療できます。

これまで新型コロナワクチンが原因で亡くなった方は世界で一人も出ておりません。

アナフィラキシーの頻度	
ハチ	0.5%
抗生剤	0.02%
全身麻酔	0.005%
新型コロナウイルスワクチン (mRNAワクチン)	0.00028~0.0005%
インフルエンザワクチン	0.00013%

参照：アレルギー、1984;33:334-56.
アレルギー、2016;65:1171-6.
CDC, Flu Vaccine and People with Egg Allergies

新型コロナワクチン公共情報タスクフォース HP から

3. 最後に

ファイザー・ビオンテック社の新型コロナワクチンは効果が高く、安全性も申し分ありませんが、副反応はゼロではありません。一方新型コロナウイルスに感染すれば、命を落とすこともあり、若者でも嗅覚障害や脱毛などの後遺症が長く続くこともあります。どちらにしてもゼロリスクはありません。ワクチン接種のメリット・デメリットと感染した際のデメリットを天秤にかけ、よく考えた上でご自身の判断で接種するかどうか決めていただければと思います。

「新型コロナワクチン公共情報タスクフォース」も是非ご参照ください。<https://medicalnote.jp/covid19-vaccine/>